

令和6年度 学校評価 自己評価書

- 4: 申し分ない取組が行われ、十分な成果を上げている。
- 3: 必要な取組が行われ、改善に向けた成果を上げている、もしくは上げつつある。
- 2: 改善に向けた取組が見られるが、成果が不十分である。
- 1: 直ちに改善を図らなければならない様子が見られるが、改善に向けた取組に着手できていない。



安芸市出身 三菱グループの創始者 岩崎 弥太郎

安芸市立井ノ口小学校

項 目 1		(たしかな学力)教育課程・学習指導【学習部】		評 定			自己評価	関係者評価
学校教育目標		やさしく かしこく たくましく						
中長期経営目標	1 基礎基本の定着 2 表現力の育成				前年度		3.4	3.5
	短期経営目標	1 基礎基本の定着 2 表現力の育成			本年度			
評価項目(目標達成に向けた具体的な取組)			達 成 基 準		達 成 状 況 <具体的取組の自己評価>			
1	基礎基本の定着 ・個別最適・協働的な学びの一体的な充実に向けた問題解決型学習の推進。 ・ICT・一人一台タブレット端末を効果的に活用しながら授業改善サイクルの確率や授業と家庭学習のシームレス化を進める。			・各種学力調査正答率で全国平均を上回る				
2	表現力の育成 ・すべての教育活動において、豊かな表現力と主体的な学びを意識する。			・「授業中、よく考え自分の意見を進んで発表できている」85%				
3								
改善方策					関係者評価講評			

項 目 2	(豊かな心)心の教育【学習部・生活部】	評 定		自己評価	関係者評価
学校教育目標	やさしく かしく たくましく				
中長期経営目標	1 特別支援教育及び人権教育を基盤とした、いじめや不登校を生じさせない温かい学級・学校づくり 2 道徳教育及び特別活動の充実と効果的な関連を通した、楽しい学級・学校づくり		前年度	3.4	4
短期経営目標	1 特別支援教育及び人権教育を基盤とした、いじめや不登校を生じさせない温かい学級・学校づくり 2 道徳教育及び特別活動の充実と効果的な関連を通した、楽しい学級・学校づくり		本年度		
評価項目(目標達成に向けた具体的な取組)		達 成 基 準		達 成 状 況 <具体的取組の自己評価>	
1	特別支援教育及び人権教育を基盤とした、いじめや不登校を生じさせない温かい学級・学校づくり ・校内支援会を軸とした特別支援教育・生徒指導・教育相談の一体的な推進 ・Q-U・学校生活アンケートの活用 ・個別の支援体制の充実	・「学校が楽しい」95%			
2	道徳教育及び特別活動の充実と効果的な関連を通した、楽しい学級・学校づくり ・「考え、議論する道徳」への取組 ・「高知の道徳」の活用 ・道徳教育と特別活動を関連させる	・「自分にはよいところがある」95%			
改善 方策			関係者 評価 講評		

項 目 3		(体)健康・体力【生活部】	評 定		自己評価	関係者評価
学校教育目標		やさしく かしく たくましく				
中長期経営目標	1	体力・運動能力の向上		前年度	3.3	3.4
	2	生活リズムの改善		本年度		
短期経営目標		1 体力・運動能力の向上 2 生活リズムの改善	評 定			
評価項目(目標達成に向けた具体的な取組)		達 成 基 準		達 成 状 況 <具体的取組の自己評価>		
1	体力・運動能力の向上 ・「こうちの子ども体力・運動能力向上プログラム」の活用 ・「握力」「走力」向上の運動を継続して行う。	・体力運動能力調査で総合評価DE群の割合が15%以下 ・「握力」「50m走」の項目で過半数の学年が全国平均を上回る				
2	生活リズムの改善 ・生活いきいきカードの取組・活用 ・ノーメディアデーの取組	・就寝時刻・起床時刻の目標達成85% ・ノーメディアデー達成率90%				
3						
改善方策			関係者評価講評			

項 目 4		基盤となる体制等、不祥事を生じさせない風土づくり【学習部・生活部・管理職】		評 定		自己評価	関係者評価
学校教育目標		やさしく かしく たくましく					
中長期経営目標		1 安心・安全な学校づくり 2 地域・保護者・関係機関との連携			前年度	3.6	4
短期経営目標		1 安心・安全な学校づくり 2 地域・保護者・関係機関との連携			本年度		
評価項目（目標達成に向けた具体的な取組）			達 成 基 準		達 成 状 況 ＜具体的取組の自己評価＞		
1	安心・安全な学校づくり ・総合的な学習の時間や特別活動で防災教育・安全教育を充実させる		・「安全教育推進についてのアンケート」児童・保護者・地域100%				
2	家庭・地域とともに歩む学校づくり ・地域の人材や環境を活用した教育活動の充実 ・保小中の連携		・「地域の人材や環境を活用した教育活動を行っている」100%				
3	働き方改革・不祥事を生じさせない職場づくり ・ワークライフバランスを確保した働き方改革の推進 ・教職員のコンプライアンス意識を高める		・校内研修を学期に1回実施				
改善方策					関係者評価講評		